

REPORT 活動報告

下曾我ミカン計画的労働参加、今年も実施しました

11月29日(金)～12月6日(金) うち作業日7日



毎年、下曾我ミカンの農家のみなさんと協力して収穫を行う計画的労働を、参加者を募り、実施しています。今年度は平均して各日10名ほどの参加がありました。近年の気候の影響で心配されたミカンは作業日程に合わせるかのように、収穫できるまでに色づき成長していました。天候にも恵まれ、予定の7日すべて収穫作業を実施することができました。一方で生産者の高齢化、イノシシ被害など心配な話も聞きました。下曾我の美味しいミカンをいつまでも楽しめるよう、収穫だけでなく多方面での支援も必要と感じました。参加した組合員からも同様な感想や次回もぜひ参加したいとの声が上がりました。

キララ賞学習会 11月19日(火) ちがさきセンター会議室

2023年度キララ賞(かながわ若者生き生き大賞)受賞「さんかく農園」(藤沢)代表の柳下貴士さんを迎え、学習会を開催しました。日本や海外の実情について触れながら、活動を始めたきっかけや気づき、環境破壊や人権侵害を防ぐことにつながる理念などを話していただきました。福祉の場で学んできたことを活かし、農業と連携させて、いつでもだれも

が包括的に農業体験ができる場を提供していることに参加者の関心が集まったようです。質疑応答では、お母さん目線で若い柳下さんへの問いかけが多かったのが印象的でした。学習会後の交流会では、「さんかく農園」で採れた10種類ほどの根菜・葉菜をサラダや素揚げなどで調理し、柳下さんと参加者で試食しました。



福祉たすけあい基金贈呈式 12月3日(火) @新横浜スペースオルタ

組合員や市民の毎月100円の寄付による「福祉たすけあい基金」は、福祉・たすけあいの市民事業や活動に対して年2回、助成しています。第22期は8団体を助成、総額3,285,176円が贈呈されました。湘南地域からは横須賀市の「NPO法人あかり」に贈呈されました。全国でも先駆的な「リカバリーカレッジ」というストレスや社会のひずみにより、心の病

いや生きづらさを感じている人たちが心の元気を取り戻す学校を開校しています。昨年10月に「福祉たすけあい基金」へ生まれ変わりました。福祉に加え地域の食や農、環境などの分野で課題解決に取り組む団体を支援し、地域の未来をより豊かにしていきます。今後多くの団体が贈呈されるのか楽しみです！



「原発をとめた裁判長そして原発をとめる農家たち」上映会

12月1日@ひらしん平塚文化芸術ホール

湘南E推進会議主催で上映会を開催しました。この映画は日本の原発の危険性を司法から訴えた裁判長と、農地の上で太陽光発電をする「ソーラーシェアリング」に取り組む農家を取り上げた作品です。本来、上映料は有料ですが、「生活クラブ自然エネルギー基金」を活用し、参加費無料で開催することができました。また、別室では(株)オルタスクエアによる省エネルギーの相談会も同時開催されました。当日は73名の方が来場し、脱原発への思いを新たにしました。

生活クラブでは脱原発やエネルギー自給率の向上をめざす「生活クラブでんき」へのスイッチングを呼びかけています。再生可能エネルギーの比率が高いことはもちろん、飯館電力や会津電力など震災後に福島で設立された発電所の電気を利用することができ、復興支援にもつながります。スイッチングがまだの方はぜひご検討ください。



編集後記

春のお友だち紹介キャンペーンが4月から始まります！生活クラブの消費材を食べ続けられるようおいしさを分かち合うお友だちを増やしましょう！(米村)

発行 第186号 2025年3月10日
湘南生活クラブ理事会 発行責任 上石理恵
編集責任 米村聡子

理事会報告・組織報告

第7回定例理事会(12月4日)

- ・コモンズ・デポ大会に向けた資料の確認と理事会対応
- ・URと連携したローカルSDGsの実現に向けた湘南の活動について

第8回定例理事会(1月9日)

- ・2024年度各機関会議重点活動総括と2025年度各機関会議重点活動と活動計画について
- ・まちづくり基金年度末対策と2025年度に向けて

組織報告

組合員数(12月末現在) 21,435人(4月期首 20,849人)

班 1,283人 ●個配 14,231人 ●デポ 5,729人 ●未組織 192人

世帯当たり利用高(12月) 33,587円(前年度同月比 109.7%)

班 42,491円 ●個配 36,461円 ●デポ 24,442円



Facebook



Instagram

みなさまからの声や、広報湘南の進化につながります。お気軽にご感想などお寄せください。✉ kohoshonan2019@gmail.com

サステイナブルなひと、生活クラブ

湘南

2025 3月号

鎌倉C・逗葉・よこすか・藤沢北・湘南ふじさわ・茅ヶ崎・ひらつか・なかぐん・城下町・はだの・足柄・ちがさき・らいふたん・鎌倉D・ひらつか西海岸

生産者と生活クラブは対等互恵の関係です

「私たちは今年1年これだけの量を食べるので、生活クラブの基準で消費材を作ってください」と、生産者へ「食べる約束」をし、それに対して生産者は「そのように作ります」と「作る約束」をしてくれています。

生活クラブの基準とは「食品添加物を限りなく削減すること」(国産のもの(国内の自給力を高めること))「公正な原材料の調達」など、生産者と共に守っている「生活クラブの消費材10原則」です。つまり生産者と私たちは「生活クラブの消費材10原則」を中心に共に「共同購入運動」をすすめる対等互恵な関係ということです。

仲間づくりー食べる人を増やすということ

おおぜいの組合員の「利用する力=利用結集力」と共同購入によって、計画的な生産や組合員と生産者が納得できる価格を維持しています。生活クラブの消費材を利用(共同購入)する人をおおぜい増やすことが「健康で安心な社会」の実現に近づきます。

生活クラブでは仲間づくりをひろげるために、毎年お友だち紹介キャンペーンを展開しています。お気に入りの消費材や生活クラブの素晴らしいしくみなどについて、あなたの言葉で生活クラブをまだ知らない人へ伝えてみませんか? 食べもの本来のおいしさを次の世代に引き継ぎ、未来についでいくためにも、一緒に仲間づくりをすすめていきましょう。

キャンペーン期間

4/1(火)~6/30(月)

春のお友だち紹介キャンペーン

生活クラブと50年以上提携している平田牧場の豚肉を紹介した組合員とお友だちにプレゼント

生活クラブとつながって、ひろげよう!
コモンズ(班・個別配送)

子どもたちの未来をつくるスーパー
デポ(店舗)

特典 紹介した組合員へ

豚肉肩ローススライス(240g)か
トマトケチャップ(ミニサンプル170g)

特典 お友だちへ

豚肉肩ローススライス(240g)

加入すると

- 豚肉肩ローススライス(240g)と長熟だし仕込みごろごろベーコン
- 加入後1年間、個別システム手数料0円
- プレママ・ママ特典など



特典 紹介した組合員へ

- お買い物券500円
- 豚肉肩1パック(薄切りなど)と卵(10個)、トマトケチャップ、スパゲティの中から1点

お友だちが加入するとさらに お買い物券500円

特典 お友だちへ

- お買い物券500円と豚肉1パック(薄切りなど)
- 加入するとお好きな消費材5点がもらえる「マイチョイスカタログ」など



春の仲間づくり2025

生活クラブの消費材を利用する仲間を増やして 健康で安心な社会へ

2025年度 commons・デポ活動テーマ

commons・デポでは毎年、取り組むテーマを決めて活動を進めます。
それぞれの2025年度の活動テーマや想いを紹介します。
企画や学習会などに参加して、組合員活動を盛り上げていきましょう。

鎌倉commons

世代をこえた仲間づくり

地球環境や地域のくらしまで考える生活クラブの取り組み、その思いを共にする組合員、生産者や地域のネットワーク、コミュニティと世代をこえて出会い、つながります。

藤沢北commons

組合員活動に参加しよう

2025年度は、できるだけ多くの組合員が自主的に活動参加できるよう、試食会などの企画を開催し、仲間づくりをひろげていきます。

commonsひらつか

学ぼう、知ろう、 もっとつながろう!生活クラブ

生活クラブを日々の生活にもっと活用して欲しい!学び、知ることは心豊かに暮らすことにつながり、活動へにつながります。まずは企画イベントにお越しください。

commonsはだの

元気に活動!みんなへ発信!!

わたしたちが楽しく元気に活動し、発信していくことで興味を持ってもらい仲間を増やすことを願いました。

らいふたうんデポ

仲間を増やして消費材を利用する 意義を伝え 安心して暮らせる デポをつくらう

新規組合員とのつながりを大切に、運営委員会、消費材の安心安全、仲間づくりをアピールしていきます。

逗葉commons

人と人の『つながり』をつくり、 一緒に活動する仲間を増やす

生活クラブの消費材を利用できる喜びを分かち合いながら、生活クラブ運動を広げ、一緒に考え行動する人を一人でも多く増やしていきます

湘南ふじさわcommons

手と手をひろげて つながろう 支えあい 伝えあう ずっと続く豊かなくらしへ

人と人がつながることで、支えあい、伝えあい、私たちの暮らし、地域、生活クラブの仕組み、その先の豊かな暮らしがずっと続いていくように

commonsなかぐん

新しい出会いと魅力の再発見

生活クラブの消費材の魅力、組合員として活動する魅力はひとつにつながっています。魅力を知り新しい出会いを作ることは活動を持続可能とするために必要です。なかぐんの特徴は話し合える人たちがいること。私たちは生活クラブを通して新たな仲間と出会い活動を楽しみたいと思います。

commons足柄

みんなの想いをつなげよう

2024年度つながりを大切に活動する中で、生産者や地域の方々の想いに触れました。私たちみんなの暮らしを守るために、その想いを受け止め、つなげていきたいと思えます。

鎌倉デポ

知って、学んで、食べよう!

自分達の意見で消費材が生まれ、今ある消費材が改善されたりするのが生活クラブです。生産者の思いや消費材の成り立ちを知り、消費材を取り巻く状況やおいしい食べ方を学んでデポをもっと活用しましょう!

よこすかcommons

Let's connect よこすかcommons

昨年は「face to face よこすかcommons☆」で「会う」事がテーマでした。今年は、「会う」から「つながる」への想いを込めました。

茅ヶ崎commons

生活クラブで元気になるう

生活クラブを通して、食の安心安全はもちろん、人と人の繋がりを大切に体も心も元気に

城下町commons

安心して暮らせる まちづくりをめざします

どんな状況下でも、安心して暮らせるよう、食べ物(F)、エネルギー(E)、福祉(C)を自分たちで作り出せるようなFEC自給圏づくりにつながる活動を行います。

ちがさきデポ

顔の見える関係をつくって、 つながるまちづくりをめざす!!

紛争や気候変動、災害、物価高騰の今、生きにくい人々が社会にあふれています。危機感はあるけれど、どう行動していいかわからない人たちがつながることが生活クラブ運動の入口だと思います。

ひらつか西海岸デポ

リニューアルを目指して 仲間を増やそう!

デポがオープンして10年を迎えます。何も無かった所にデポが建ち、おおぜいの仲間の方でここまでできました。これから先の10年を見据えデポがいつまでも元気でいられるようにもっと仲間を増やしリニューアルに挑戦します。

策定学習会開催報告 11/1(金) ちがさきセンター

【第1部】講師による学習会

生活クラブ連合会 専務理事 柳下信宏氏

【第2部】ワークショップ

例年涼しくなり始めた頃、次年度活動方針の策定につなげることを目的に学習会を開催します。
今回の学習会では、様々なキーワードが見つかるものとなりました。

第1部では、導入で「共同購入運動」のイメージをもとに考え、参加者から「仲良くみんなで買う」や「安定」などの言葉が見つかり、そこから「共同購入運動」について学ぶことになりました。予約をすることの意義や仲間を増やすことの大切さ、共同購入をひろげることで生活クラブが目指す食の安全や安心して食べ続けられる尊さを理解しました。参加者の印象に残った言葉には、「対等互惠」「よやくは未来の予約」「食べて応援」などがありました。



第2部では、初めて会う他commons・デポの運営委員とグループをつくり、今年度を振り返り、お互いの活動成果や気になることを話し合い、そこから次年度の活動についてどんな活動をしたか考え、参加者が率直な思いをそれぞれ発表しました。「もっと食べる→伝える」「もっと活動を楽しむ」「生活クラブが生活協同組合だということ伝える」「消費材についてもっと深く知る」「生産者を知る」など。

学習会から見つけた言葉、他commons・デポ運営委員同士の話し合いから見つけた言葉がいくつも出てきて、会場は次年度に向けた熱気に包まれました。ここから各commons・デポ運営委員会に持ち帰り、それぞれの2025年度の活動方針作成に向けて始動します。湘南エリアでどんな活動が展開されていくのか今から楽しみです。

私たちのまちの身近な居場所

生活クラブ神奈川では、居場所活動を行う組合員と地域の人たちのアソシエーションを支援するために基金を設けて助成しています。湘南エリアで基金の助成を受けて居場所活動をしているアソシエーションを紹介していきます。

子どもの本箱

2021年に開成町の一軒家を借りたことをきっかけに、子どもたちが健やかに幸せに育つためのお手伝いをしたい、同時にお母さんが子育てで孤立しないようにという思いから、居場所や交流の場をつくり、地域の方と一緒にさまざまな活動を行っています。

絵本の貸し出しや読み聞かせをする「くんちゃん文庫」は、毎月第3木曜日に加え、木曜日になかなか来られない、お家の方が平日お仕事で来られないと



いった子どもたちにも遊びに来てもらえるよう、隔月第3土曜日の開催も始まりました。今年度はcommons足柄の企画にも参加してもらい、これからの活動のひろがりがあります。楽しみです。

はたらっく通信

vol.04



ひらつか②

「はたらっく・ひらつか」に なくてはならない組合員の“力”

生活困窮者自立支援法に基づき、各行政が多様に展開している“就労準備支援事業”。平塚市は、平塚のまちづくりに取り組んでいる生活クラブ組合員の力に期待し、共同企業体*に事業委託をしています。組合員の様々な関わりにより、利用者の皆さんは地域社会とつながる第一歩を踏み出しています。

事業運営・支援を担っているスタッフは全員組合員です。

お楽しみ企画の主体は「ボランティアサポーター」登録した意志ある組合員です。

セミナーでは特技を持つ組合員に「講座講師」をお願いしています。

組合員の紹介による「体験実習協力事業所」も心強い地域の応援者です。

この事業はまだ地域に知られていません。“はたらきたい・社会参加したい・生活リズムを整えたい”など、悩みを抱えている方が笑顔になり、前に進んでいけるように、この生活クラブの事業の情報を地域に広げることもご協力をお願いします。

はたらっく・ひらつか代表
君島周子(お問い合わせは0463-73-8262まで)

